

# EGOTERIC

D-01

# 目次

エソテリック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ごぞいます。

エソテリック製品は、最良の音質で末永くお使いいただくために、一台一台を厳しい品質管理のもとに製造しております。最良のコンディションでお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに保証書と一緒に大切に保管してください。

末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

目次	2
特長	2
安全にお使いいただくために	4
使用上の注意	7
接続	8
i.LINK(IEEE1394)	10
各部の名称	11
初めてお使いになるときは	13
基本操作	14
設定を変更するには	15
工場出荷時の状態に戻すには	17
メッセージ一覧	17
困ったときは	18
ブロック・ダイアグラム	19
仕様	20
保証とアフターサービス	21

“Super Audio CD” と “DSD” は登録商標です。

# 特長

## スーパーオーディオCDの持つ能力を世界最高レベルへと導く、モノラルD/Aコンバーター

エソテリックの「L/R独立伝送による音質改善」の考えをさらに進化させ、Lチャンネルで1台、Rチャンネルで1台のD-01を用いる完全L/R独立システムを構築しました。L、Rのオーディオ信号の経路に共用する部分が一切ないので、完全に等しい独立経路となり、妥協のないHi-Endサウンドを創出します。演奏家の周囲の空気感、楽器の姿、見通しの良さ等、アンビエンス、プレゼンス情報の再生においても真価を発揮します。同時に、チャンネル毎に専用の電源を持たせることにより、十分すぎるほどの余裕を確保できるため、理想的なDA変換が可能です。

- ・ 入力端子はXLR×2系統(ES-LINK)、RCA×1系統、IEEE1394×2系統を装備します。
- ・ スーパーオーディオCDからのDSD信号は、XLR端子を使ったESOTERICの独自フォーマットES-LINK、またはIEEE1394インターフェースを使って入力されます。(DSDは商標です)
- ・ PCM信号は、最大192kHzまで入力可能です。(DUAL、STEREO伝送とも可能です)
- ・ STEREOまたはMULTI信号が入力された場合は、「チャンネルセレクト」(15、16ページ)で設定したチャンネルの音声を選択します。
- ・ デジタルフィルターは、FIR、RDOT、FIR+RDOTの3種類から選択可能です。最大768kHzまでアップコンバートされて、マルチビット型D/AコンバーターPCM1704に入力されます。入力されたスーパーオーディオCDからのDSD信号は、88.2kHzまたは176.4kHzのPCMに変換されてからデジタルフィルターに入力されます。
- ・ 高精度水晶発振器を用いたRAM-Link(Refined Asynchronous Memory Link)を搭載。ワードシンクモードにすると自動的にRAM-Linkが働き、DACデバイス前段までのジッタを除去します。
- ・ D/Aコンバーターは、24bitマルチビット型D/AコンバーターPCM1704を贅沢に8個組み合わせることで、S/Nとリニアリティの向上が図られています。これによりアンビエンスやプレゼンスの音楽情報までもより正確に再現することが可能になりました。

- ・ D/A変換された信号を出力するドライバー回路には、ドライブ力とスルーレートにこだわり、±42V電源を使ったディスクリート回路構成にしました。これにより、より瞬発力に富んだ音楽表現が可能となりました。

## ワードシンク機能により、外部機器との同期運転が可能

ワードシンクは、WORDクロックを出力するOUTモードと、外部からのWORDクロックに同期するINモードを装備しています。44.1, 88.2, 176.4, 48, 96, 192, 100, 48P, 96P, 192P, 100P(kHz)のクロックの入出力に対応しています。(Pは「PALフィルム用4%ダウンモード」の略です)

Rb INモードを選ぶと、ルビジウムなどの高精度クロックとの同期に特化したPLL回路が選択されます。内蔵の高精度水晶発振器は±3ppmを使用しています。ルビジウムマスタークロックジェネレーター「G-ORb」を使用することにより一層ハイスピードで実在感とデリカシーに富んだサウンドをお楽しみいただけます。

## 音質にこだわったアナログボリューム装備により、パワーアンプとダイレクトに接続可能

デジタル領域でのビット落ちを気にせず使うことができるアナログボリュームを装備しました。ボリュームを使用しない場合は、回路をスルーにすることができるボリュームバイパス機能付きです。

## 主要な内部配線材に6N純度の銅線を採用し、さらなる音質を追求




高音質化に欠かせない付属AC電源コードや内部配線の多くは、高純度6N銅のケーブルを使い、音の純度と分解能を高め、テクスチャーを際立たせています。6N線材の被覆には音質はもちろん環境にも配慮した非PVC素材のポリオレフィンを使用しました。6N以外の線材にもPVCを使用しない線材を使っています。この高純度6N銅ケーブルはESOTERIC「MEXCEL」インターコネクタケーブル、8N銅パワーケーブルと同様に株式会社アクロジャパンの協力により共同開発いたしました。




## 音質に悪影響を与える内・外部振動を徹底排除する高剛性ボディコンストラクション



外装部にはフロントパネル、天板・側板そして底板にも肉厚のアルミ材を採用し、筐体全体をESOTERIC独自の焼入鋼ピンポイントフット(特許出願中)で支持。メカニズム取付けの高精度化と筐体の高剛性・無共振化を徹底しています。特にスピーカーからの音圧の影響を受け易い天板は8mm厚を使用し万全を期しています。気品のあるショートスクラッチで仕上げた肉厚のアルミ材のフロントパネル、天板・底板・側板、さらに曲線を採用した四隅のコーナー部にも採用したアルミ材のデザインは、筐体の高剛性・無共振化と共に最高峰のスーパーオーディオCD/CD用モノラルD/Aコンバーターにふさわしい品位と風格を醸しだしています。

# 安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

 <b>警告</b> 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。	
 電源プラグをコンセントから抜け	<b>万一、異常が起きたら</b> 煙が出たり、変なおいや音がするときは。 機器の内部に異物や水などが入ったときは。 この機器を落としたり、キャビネットを破損したときは。 すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店またはティアック修理センター (22ページに記載)に修理をご依頼ください。
 禁止	<b>電源コードを傷つけない。</b> 電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。 コードが破損すると火災・感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック修理センター (22ページに記載)に交換をご依頼ください。
	<b>電源プラグにほこりをためない。</b> 電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。
	<b>交流100ボルト以外の電圧で使用しない。</b> この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	<b>機器の上に花瓶や水などが入った容器を置かない。</b> 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。

 <b>警告</b> 以下の内容を見無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。	
 分解禁止	<p>この機器のキャビネットは絶対に外さない。 キャビネットを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター（22ページに記載）にご依頼ください。</p>
	<p>この機器を改造しない。 火災・感電の原因となります。</p>
 強制	<p>この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおく。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置く。 ラックなどに入れるときは、機器の天面から15cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける。 内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p>

 <b>注意</b> 以下の内容を見無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。	
 強制	<p>オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。 また、接続は指定のコードを使用する。 それ以外の物を使用すると故障、火災、感電の原因となります。</p>
	<p>電源を入れる前には音量を最小にする。 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。</p>
	<p>この機器は21kgあり大変重いので、開梱や持ち運びの際はけがをしないように注意する。</p>
	<p>この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにする。 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。</p>



## 注意

以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。  
湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない。  
調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない。  
火災・感電やけがの原因となることがあります。

この機器の付属の電源コードを他の機器に使用しない。  
故障、火災、感電の原因となります。

電源コードを熱器具に近づけない。  
コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。  
感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。  
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



電源プラグを  
コンセントから  
抜け

移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、  
外部の接続コードを外す。  
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグを  
コンセントから抜く。

お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜く。  
感電の原因となることがあります。



愛情点検

電源コードや本体に異常がないか、定期的に点検してください。  
内部にほこりがたまったら、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。  
特に、湿気が多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。  
5年に1度は、販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）に内部の点検をご依頼ください。  
費用についてはお問い合わせください。

# 使用上の注意

## 付属品の確認

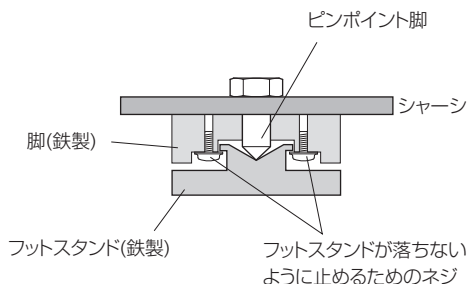
万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店またはティアック修理センター（22ページに記載）にご連絡ください。

- 電源コード×1
- フェルト×4枚
- 取扱説明書(本書)×1
- ご愛用者カード×1

## 設置について

本機の底板には、工具鋼を焼き入れ処理した高硬度ピンポイント脚と鉄製の脚が強固に取り付けられています。

フットスタンドはぐらついた状態になっていますが、設置するとピンポイント支持になり、振動を効果的に分散させます。



- 本機は大変重いので、設置の際は、けがをしないように十分に注意ください。
- 床を傷付けたくない場合は、フットスタンドの裏に付属のフェルトを貼ってお使いください。
- 右の前脚を回して、ガタつきがないように高さを調節してください。
- 安定した場所に設置してください。
- 本機の上には物を置かないでください。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。

## 電源の極性について

付属の電源コードのプラグ部分の極性表示マーク(◊)は、本機のアース側を示しています。一般的に、家庭用電源コンセントの差し込み口は、長い溝の方がアース側です。

接続時の電源プラグの差し込む向き(極性)によって、音質が変わることがあります。お好みの音質となる向きで接続してください。



## お手入れ

トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いたあと、固く絞った布で水拭きしてください。

ゴムやビニール製品を長時間触れさせると、キャビネットを傷めることがありますので避けてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

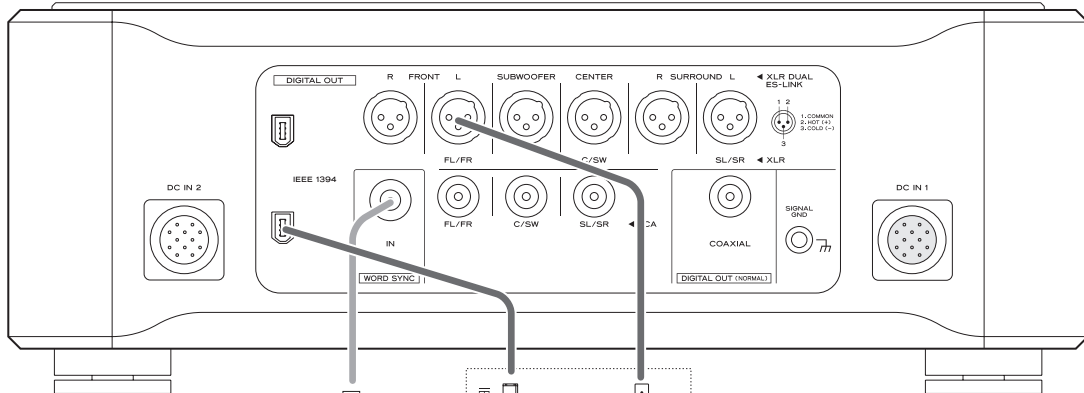
**⚠️ お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。**

# 接 続

## ⚠ 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。
- 2台のD-01+P-01+G-0/G-0sの接続例は、別紙「初めにお読みください」をご覧ください。

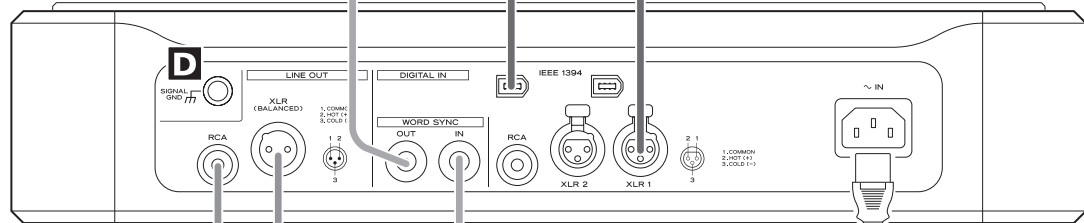
### SACD/CDトランスポート (P-01)



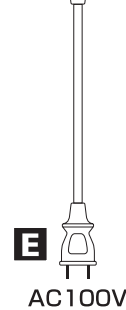
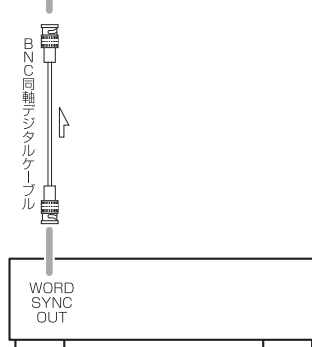
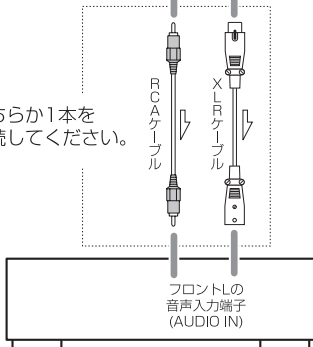
エンテリックのG-0Rbなどをご使用の場合は、G-0RbなどのWORD CLOCK OUT端子と、P-01のWORD SYNC IN端子を直接接続してください。

どちらか1本を接続してください。

### D-01 (フロントLチャンネル)



どちらか1本を接続してください。



他のチャンネル用のD-01  
またはクロックジェネレーター (G-0Rbなど)



## A デジタル音声入力端子

デジタル音声を入力します。  
デジタル機器(P-01など)のデジタル出力端子と接続してください。

接続には市販のケーブルをお使いください。

XLR : バランス型XLRデジタルケーブル  
RCA : RCA同軸デジタルケーブル  
IEEE 1394 (i.LINK) :  
S400対応の6ピンのi.LINKケーブル  
(IEEE 1394ケーブル)

- IEEE 1394端子(i.LINK(AUDIO)端子)は、接続した機器との双方向のデータ転送が可能なインターフェースです。入力/出力の区別はありません。
- XLRはDual AES対応です。お手持ちのデジタル機器がDual AESに対応している場合は、本機のXLR端子とデジタル機器の該当する端子(本機で受けたいチャンネルの出力端子)を接続してください。

## B アナログ音声出力端子 [LINE OUT]

アナログの音声を出力します。  
アンプにXLRの音声入力端子がある場合は、市販のバランス型XLRケーブルを使って接続してください。

アンプにXLRの音声入力端子がない場合は、市販のRCAオーディオケーブルを使って接続してください。

## C ワードシンク入出力端子 [WORD SYNC]

同期信号(ワード)を入力/出力します。

ワードシンク入力端子(WORD SYNC IN)は、G-ORbなどのマスタークロックジェネレーター、または他チャンネル用のD-01のワードクロック出力端子と接続してください。

ワードシンク出力端子(WORD SYNC OUT)は、デジタル機器のWORD SYNC IN端子と接続してください。

接続には市販のBNC同軸デジタルケーブル(インピーダンスが75Ωのもの)をお使いください。

## D アース端子[GND]

市販のビニール電線でCDトランスポートやアンプなどとアース接続すると、音質が良くなるがあります。

- 安全アースではありません。

## E 電源コード

電源コード接続ソケットに付属の電源コードを差し込んでください。全ての接続が終わったら、電源プラグをAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。

- 本機の電源コード接続ソケットは3ピン仕様になっていますが、アースピンはシャーシには接続されていません。

⚠ エンテリック純正の電源コード以外は使わないでください。火災や感電の原因になることがあります。また、長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

## P-01と組み合わせてお使いになるときは

### P-01の設定

OUTPUTボタン	XLR DUALまたはIEEE1394
WORDボタン	Rb IN
UP CONVERTボタン	176.4/192

### D-01の設定

INPUTボタン	XLR(1または2)またはIEEE1394
WORDボタン	マスタークロックとして使用する 1台目はOUT、2台目以降はRb IN。 エンテリック製マスタークロックジェネレーターと接続する場合は、Rb IN。
W_OUT(メニュー)	176.4
CH_SEL(メニュー)	該当するチャンネル

### G-ORbの設定

周波数切換ボタン(A, B, C)	176.4kHz
FREQUENCY MODEボタン	44.1kHz

エンテリックでは、リファレンスとして**エンテリック MEXCEL ストレスフリー 7N**ケーブルを使用しています。エンテリック **MEXCEL**ケーブルシリーズは、以下のものが発売されています。

RCAオーディオケーブル	BNCデジタルケーブル
XLRオーディオケーブル	スピーカーケーブル
RCAデジタルケーブル	パワーケーブル
XLRデジタルケーブル	

# i.LINK (IEEE 1394)

i.LINKとは、国際標準規格であるIEEE 1394の別称です。本機はi.LINK(AUDIO)に対応しています。

本機のIEEE 1394端子(i.LINK(AUDIO)端子)にi.LINK(AUDIO)対応機器をi.LINKケーブルで接続すると、2chリニアPCM信号やマルチチャンネルの圧縮オーディオ信号に加え、従来アナログでしか伝送できなかったスーパーオーディオCDのマルチチャンネル信号をデジタルのまま伝送することができます。複数のi.LINK対応機器を接続する場合、他の機器を経由して接続してもデータのやりとりが可能ですので、接続順序を意識する必要がありません。

## 著作権保護システムDTCP

i.LINKを使ってスーパーオーディオCDやDVDオーディオの音声を再生するためには、再生機器とD/Aコンバーターの双方が著作権保護システムDTCP(Digital Transmission Content Protection)に対応していなければなりません。

本機はDTCPに対応しています。

## データ転送速度

i.LINK対応機器のデータ転送速度には、100Mbps(S100)、200Mbps(S200)、400Mbps(S400)の3種類があります。本機の最大データ転送速度は400Mbpsです。接続には、市販のS400対応の6ピンi.LINKケーブルをお使いください。

複数の機器を接続するときに、データ転送速度の遅い機器を間に挟むと、データ転送速度が遅くなります。できるだけデータ転送速度が同じ機器を上流に並べて接続してください。

## 注意

- i.LINKの伝送フォーマットには、本機の「i.LINK(AUDIO)」「A&Mプロトコル」の他に、BSデジタルなどの「MPEG-2 TS」、DVDレコーダーはデジタルビデオの「DV」などがあります。本機にi.LINK(AUDIO)非対応の機器(パソコンの周辺機器など)を接続すると、誤動作や故障の原因になりますので、絶対に接続しないでください。
- データ転送中は、つながっている機器のi.LINKケーブルを抜き差ししたり、電源をオン/オフしないでください。

- i.LINK対応機器によっては、電源がオンになっていないとデータを中継できないものがあります。

- i.LINKに対応していても、機器によっては動作しないことがあります。

## 複数のi.LINK機器を接続するには

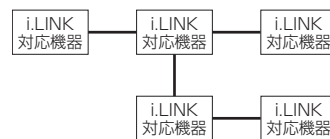
### デジチェーン接続(数珠つなぎ)

数珠つなぎに一列に接続する場合は、本機を含めて17台まで接続できます。

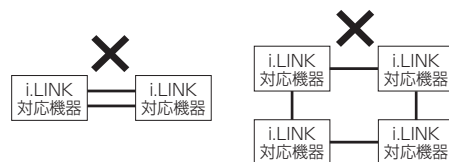


### ツリー接続

i.LINK端子が3個以上ある場合、途中で分岐して接続することもできます。本機を含めて17台まで接続できます。



信号を出力した機器に、同じ信号が戻ってしまうと動作しません。接続が輪(ループ)にならないように注意してください。

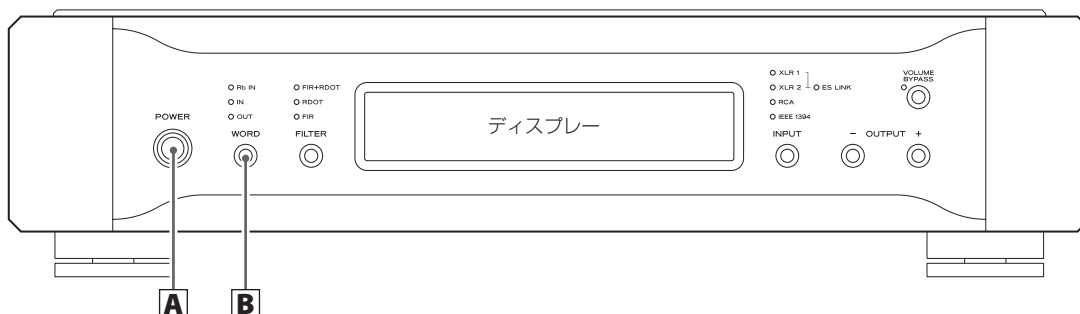


この機器のi.LINKインターフェースは、以下の規格に基づいて設計されています。

- 1) IEEE Std 1394a-2000, Standard for a High Performance Serial Bus
- 2) Audio and Music Data Transmission Protocol 2.0

この規格のAM824 sequence adaptation layersの中の、IEC60958 bitstream、DVD-Audio、スーパーオーディオCDに対応しています。

# 各部の名称



## A 電源ボタン [POWER]

電源のオン/オフを切り換えます。電源がオンのときは、ボタンの周囲が青く光ります。

## B ワードボタン [WORD]

ワードシンクのモードを切り換えます。選択したモードのインジケータが点灯します(通常モードは青、4%ダウンモードは紫)。正しいワード信号を検知できないときは点滅します。オフのときはインジケータが消灯します。

### OUT

内部でワードクロックを生成して出力し、本機がマスターになります。

### IN

一般的な外部クロック入力に対し、安定して動作するモードです。ただし、精度の高い同期を実現するために、ワードクロック入力周波数レンジは±15ppmと狭くなっておりますので、接続する機器の出力精度によっては同期できない場合があります。

### Rb IN

ルビジウム発振器など、より高精度の外部クロックジェネレーターとの接続に最適化したモードです。エソテリック製マスタークロックジェネレーターと接続した場合は「Rb IN」を選んでください。同期するまでの時間が長くなることがあります。「WRD UNLOCK!」や「WRD ERROR!」という表示がでる場合は、「IN」に切り換えてください。

### オフ(消灯)

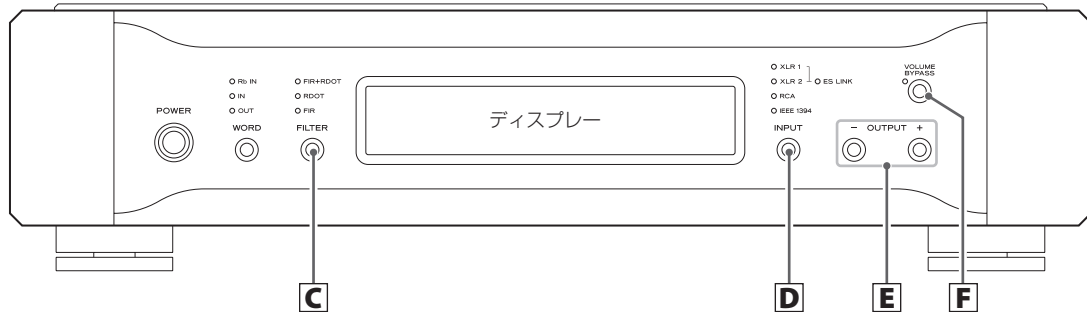
ワードシンクを使用しません。

## 4%ダウンモード

このボタンを3秒以上押し、4%ダウンモード(PALフィルム用)と通常のモードが切り換わります。

- 「IN」または「Rb IN」を選ぶと、外部入力クロックをマスターとしてシンク動作します。このとき、WORD SYNC OUT端子からは、WORD SYNC IN端子に入力されたものと同じワードクロックが出力されます。
- 本機は196kHzまでのクロックに対応しており、入力された信号によって自動的に切り換わります。
- 「IN」または「Rb IN」を選ぶと、インジケータが点滅して外部クロックをサーチします。クロックを感じてロックすると点灯(青)に変わり、外部同期による再生が可能になります。
- あらかじめWORD SYNC端子を接続しておいてください。

## 各部の名称(続き)



### C フィルターボタン [FILTER]

アップコンバートのアルゴリズムを選択します。ボタンを押すたびに以下のように切り換わり、選択されたフィルターのインジケータが点灯します。



#### RDOT :

フルエンシーデジタルフィルターによるアップコンバート動作を行います。スローロールオフの特性を持ち、のびのある自然な音色が特徴です。最大で16倍のアップコンバートを行います。

#### FIR :

FIR型デジタルフィルターによるアップコンバート動作を行います。シャープロールオフの特性を持ち、重厚でしっかりした再生音となります。最大で8倍のアップコンバートを行います。

#### FIR+RDOT :

RDOTとFIRを組み合わせた動作です。デジタルの領域で2つのアップコンバータが直結されることで、それぞれの特徴がより引き出されます。

フィルターボタンを3秒以上押すと、設定モードになります。(15ページ)

### D 入力切替ボタン [INPUT]

デジタル入力を切り換えます。デジタル機器が接続されている端子を選んでください。選択した入力のインジケータが点灯します。機器が接続されていない、または電源がオフのときは、インジケータが点滅します。

### E 出力レベルボタン [OUTPUT]

出力レベルを  $-\infty$ 、 $-99.5$ ~ $+6$ dBの範囲で、0.5dB刻みに調節できます。この機能を使うときは、ボリュームバイパスをオフにしてください。

### F ボリュームバイパスボタン [VOLUME BYPASS]

このボタンを3秒以上押すと、ボリュームバイパスのオン/オフが切り換わります。

#### オン

ボリューム(出力レベル)の回路をバイパスします。プリアンプと接続し、プリアンプ側で音量を調節するときはオンにしてください。インジケータは点灯します。

#### オフ

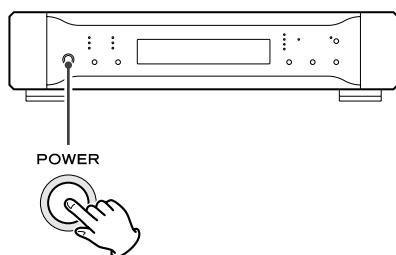
パワーアンプと直結して、OUTPUTボタンを使って出力レベルを調節したいときは、オフにしてください。インジケータは消灯します。

- ⚠ CDなどの再生中にボリュームバイパスをオンにすると、突然音が大きくなり、スピーカーを破損する恐れがあります。ボリュームバイパスをオンにする前に、必ずプリアンプの音量を絞ってください。

# 初めてお使いになるときは

本機を初めてお使いになるときや、設定を工場出荷時の状態に戻したときは、まず最初にチャンネルを設定する必要があります。

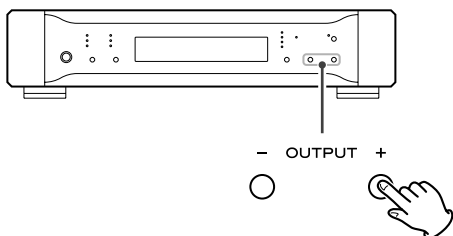
## 1 電源ボタンを押して電源をオンにする。



オンのときは、電源ボタンの周囲が点灯します。

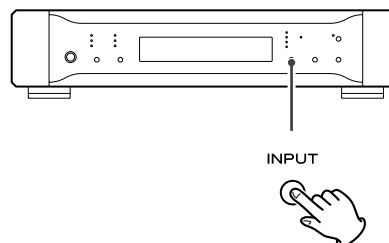
ディスプレイの左側に「CH\_SEL>」が表示され、右側には「L R」と各チャンネルのアイコンが交互に表示されます。

## 2 OUTPUTボタン(+/-)を押してチャンネルを選ぶ。



ボタンを押すたびにチャンネルが変わります。本機が受けるチャンネルを選んでください。

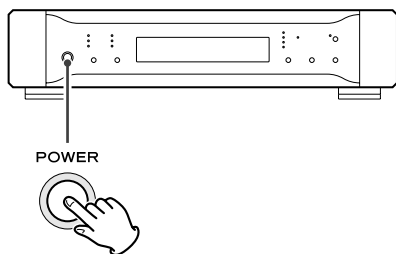
## 3 INPUTボタンを押してチャンネルを確定する。



- ここで設定したチャンネルを変更したいときは、「設定を変更するには」の「チャンネルセレクト」(15～16ページ)をお読みください。

# 基本操作

## 1 電源ボタンを押して電源をオンにする。



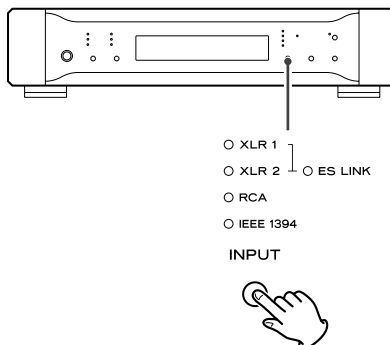
オンのときは、電源ボタンの周囲が点灯します。

- 接続してある機器の電源もオンにしてください。
- WORDボタンをINまたはRb INに設定している場合、電源をオンにした直後はワード信号を検知できないため、ディスプレイに「WRD UNLOCK!」や「No Word!」が表示されますが、接続した機器の電源を入れて、ワード信号がロックされれば、表示は消えます。

## 2 デジタルフィルターなどの設定を選ぶ。

詳しくは15～16ページをお読みください。

## 3 入力切換ボタンを押して入力を選ぶ。

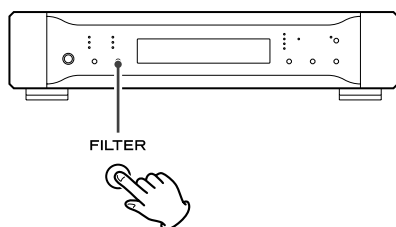


入力を選んだら、ソースを再生してください。

- XLR1または2が選択されているときにXLR DUALの信号が入力されると、インジケーターの色が青から紫に変わります。
- 使い終わったら、電源ボタンを押して電源をオフにしてください。

# 設定を変更するには

## 1 FILTERボタンを3秒以上押し続ける。

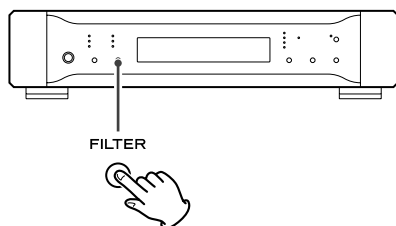


設定モードになり、ディスプレイに「W\_OUT>\*\*\*」が表示されます。  
(\*\*\*の部分は設定によって異なります)

以下の操作をすると、設定モードは解除されて通常の表示に戻ります。

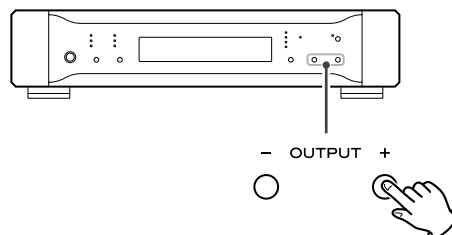
- ・ 8 秒以上放置する。
- ・ もう一度 FILTER ボタンを 3 秒以上押す。
- ・ FILTER ボタン / OUTPUT ボタン以外のボタンを押す。

## 2 FILTERボタンをくり返し押し、変更する項目を選ぶ。

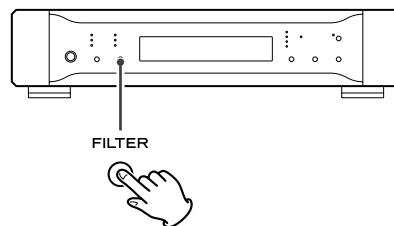


FILTERボタンを軽く押す度に、表示が変わります。  
変更できる項目と設定について、詳しくは次のページをお読みください。

## 3 OUTPUTボタン(+/-)を使って、設定を変更する。



## 4 FILTERボタンを3秒以上押し続けて、設定を終了する。



または、8秒以上放置すれば通常の表示に戻ります。

- 設定を終了しないで電源を切ると、故障の原因になります。
- 設定した内容は、電源プラグを抜いた状態で放置しても半永久的に保持されます。

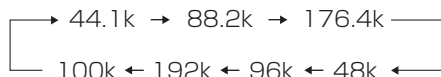
# 設定を変更するには(続き)

## ワード出力周波数(W\_OUT)

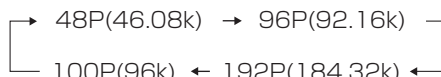
WORDボタンでOUTを選択したときに出力されるワードの周波数を選びます。

出荷時は44.1kに設定されています。

### 通常モード



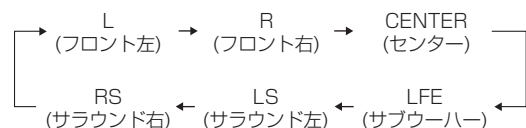
### 4%ダウンモード



(Pは「PALフィルム用4%ダウンモード」の略です)

## チャンネルセレクト(CH\_SEL)

本機が受けるチャンネルを選びます。



選択したチャンネルのアイコンが点灯します。



ここで選んだチャンネルと、入力される信号とが一致しないと、アイコンが点滅します。その場合はチャンネルを選び直すか、デジタル機器との接続を確認してください。

## DSD

DSDからPCMに変換するFsを設定します。

88.2k(出荷時の設定)または176.4kを選んでください。

## DSDゲイン(DSDgain)

DSDからPCMに変換するときのレベルを設定します。0または+6(出荷時の設定)を選んでください。

- DSDを176.4kHz、DSDゲインを+6に設定した場合、大音量で収録されているディスクを再生したときに音がひずむことがあります。その場合は設定を、「DSDを88.2kHz、DSDゲインを+6」または「DSDを176.4kHz、DSDゲインを0」に変更してください。
- DSDゲインを0に設定した場合、スーパーオーディオCDはCDより小さい音量で再生されます。

## アナログ段のローパスフィルター (80kLPF)

音質の方向性に微妙な違いがありますので、お好みでONまたはOFF(出荷時の設定)を選んでください。

OFFにすると、お使いのパワーアンプ、スピーカーによっては異音が発生したり、パワーアンプの保護回路が動作することがあります。その場合は、ONにしてください。

## IEEE1394リモート機能(1394RC)

複数のD-01がIEEE1394ケーブルで直接接続されているときにONに設定すると、Lチャンネルに設定されているD-01を操作するだけで他のD-01を連動させることができます。(接続するときに、D-01の間にP-01を挟まないでください)

この機能はD-01がIEEE1394ケーブルで接続されていれば使えますので、入力はIEEE1394以外を選んでも構いません。

OFF(出荷時の設定)にすると、入力をIEEE1394にしたときだけ、IEEE1394回路に電源が入ります。

## ディスプレイのディマー (DIMMER)

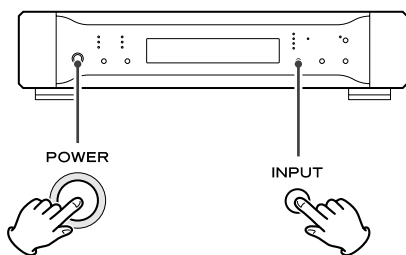
ディスプレイとインジケータの明るさを、4段階で調節できます。

Dimmer0(消灯)を選んだ場合は、設定モードを終了すると、ディスプレイと電源ボタン以外のインジケータが消灯します。電源をオフにすると消灯は解除され、次に電源を入れたときはDimmer1の明るさになります。

- 消灯中に、入力信号やワードクロックを検知できないなどのエラーが発生した場合は、Dimmer1の明るさでメッセージを表示します。
- 消灯中に何かボタンを押すと、約3秒間だけディスプレイが点灯します。
- 出荷時はDimmer3に設定されています。



## 工場出荷時の状態に戻すには



設定した内容は、電源プラグを抜いた状態で放置しても半永久的に保持されます。

以下の操作をすると、設定した内容を工場出荷時の状態に戻し、すべてのメモリーを消去します。

### 1. 電源をオフにする。

電源がオンだった場合は、オフにしてから30秒以上待ってください。

### 2. INPUTボタンを押しながら電源ボタンを押す。

電源がオンになりディスプレイが点灯するまで、INPUTボタンから指を離さないでください。

## メッセージ一覧

#### ES-LINK

エンテリックのES-LINK対応の機器と接続されています。

#### No Word!

WORDクロックが入力されていません。

#### UNKNOWN

IEEE1394ケーブルで接続されている機器の機種名が不明です。

#### WRD ERROR!

入力されているソースがWORDクロックと一致していません。

#### WRD UNLCK!

入力WORDクロックにロックできていません。

#### LOOP ERR!

IEEE1394の接続がループになっています。  
(10ページ)

- 通常はディスプレイの左側に、CD再生時は「入力されているデジタル信号のサンプリング周波数」、スーパーオーディオCD再生時は「DSD」が表示され、右側には出力レベルが表示されます。
- ボリュームバイパスがオンのときは、出力レベルは表示されません。
- IEEE1394ケーブルで接続された機器を認識したときに、機種名(P-01など)が表示されます。

# 困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。また、本機以外の原因も考えられます。接続した機器の使用方も合わせてご確認ください。

それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター(22ページに記載)にご連絡ください。

## 電源が入らない。

- ➔ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ➔ 電源ボタンを押してオンにしてください。

## 音が出ない。

- ➔ アンプやデジタル機器との接続を確認してください。
- ➔ ボリュームバイパスがオフになっている場合は、本機のOUTPUT LEVELを大きくしてください。

## 入力インジケータが点滅する。

- ➔ 選択されている入力端子に接続されている機器の電源を入れてください。
- ➔ 選択されている入力端子が正しく接続されているか確認してください。

## パワーアンプの保護回路が働く。

### スピーカーから高域の異音が出る。

- ➔ 80kLPFをONに設定してください。(16ページ)

## 「ブツ、ブツ……」と周期的なノイズが出る。

- ➔ D-01がワードシンク・モードなのに、接続している機器がワードシンク・モードになっていない可能性があります。ワードシンク端子の接続や、接続している機器の設定を確認してください。  
通常はWRD ERROR表示をしますが、D-01のワード・エラー検出限界よりもさらに小さなずれしかない場合、この現象が起こることがあります。

## WORDインジケータが点滅する。

- ➔ ワードクロックが入力されていない時は、ワードシンクはオフにしてください。(11ページ)
- ➔ 同期できない信号が入力されている可能性があります。ワードシンク端子の接続や、接続している機器の設定を確認してください。

## 「No Word!」が表示される。

- ➔ ワードクロックが入力されていません。外部マスタークロックジェネレーターとの接続、マスタークロックジェネレーターの電源や出力状態を確認してください。
- ➔ ワードクロックが入力されていない時は、ワードシンクはオフにしてください。(11ページ)

## 「WRD ERROR!」が表示される。

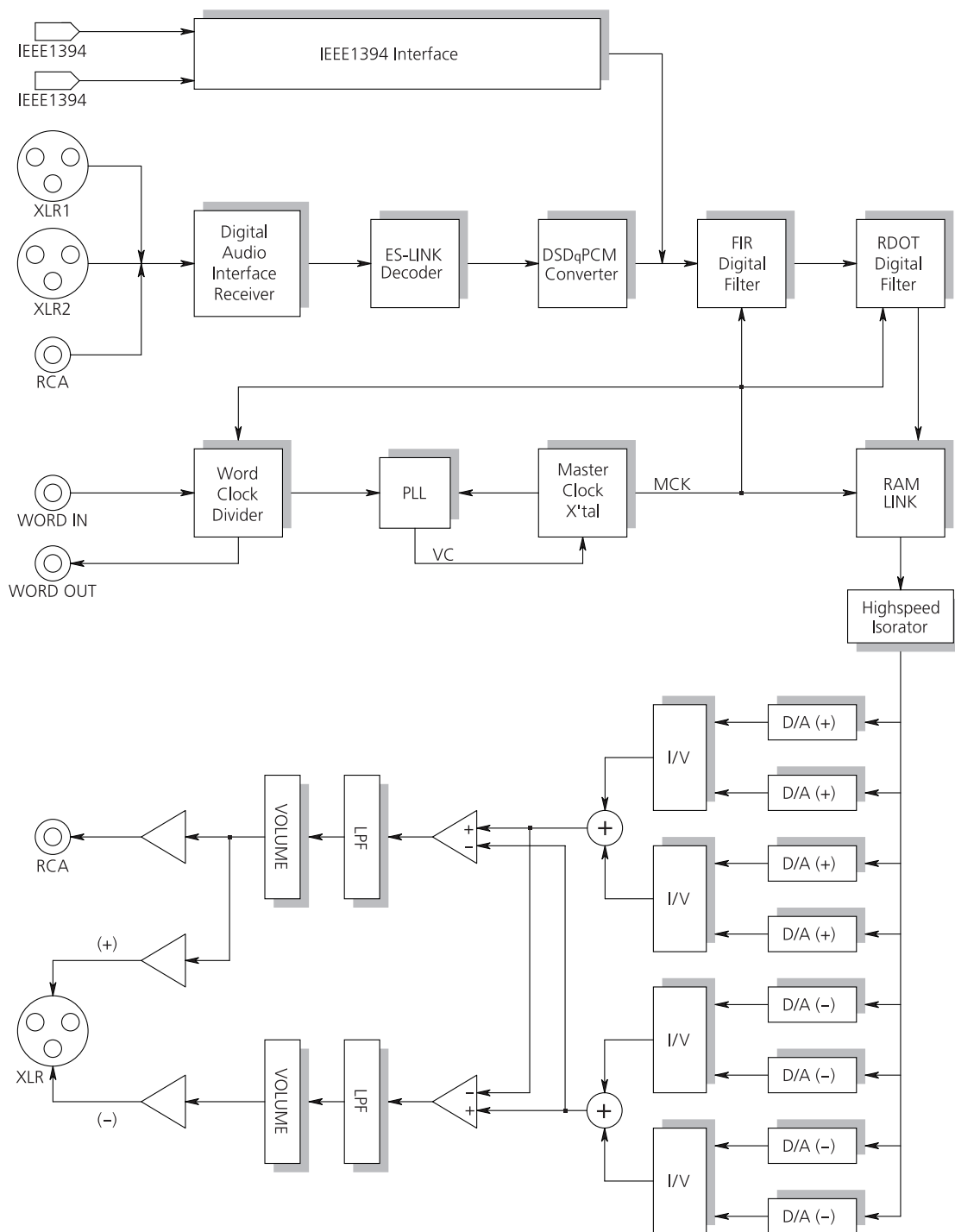
- ➔ 同期できない信号が入力されている可能性があります。ワードシンク端子の接続や、接続している機器の設定を確認してください。
- ➔ ワード・シンク機能のない機器をお使いの場合は、本機のWORDボタンをオフにしてください。

## 「WRD UNLOCK!」が表示される。

- ➔ 「Rb IN」で同期が取れない場合、「IN」に切り換えてみてください。(11ページ)

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源を切り、約1分後に始めから操作してください。

# ブロック・ダイアグラム



# 仕様

## 一般

電源.....100V AC 50-60Hz  
消費電力.....23W  
外形寸法(WxHxD、突起部含まず)  
445×108×420(mm)  
質量.....約21kg

## 電気的特性

周波数特性.....2Hz-80kHz, -3dB  
S/N.....118dB (JEITA)  
ダイナミックレンジ.....112dB (JEITA)  
全高調波歪率.....0.001% (JEITA)

## 入力可能サンプリング周波数(kHz)

32, 44.1, 88.2, 176.4, 48, 96, 192,  
48P(=46.08), 96P(=92.16),  
192P(=184.32)  
DSD (IEEE1394またはES-Linkのみ)

## ワードクロック周波数 (入力/出力)

通常時  
44.1, 88.2, 176.4, 48, 96, 192, 100 (kHz)

4%DOWNモード時  
48P(=46.08), 96P(=92.16),  
192P(=184.32), 100P(=96) (kHz)

## ワードクロック入力周波数レンジ

WORD IN モード.....±15ppm  
Rb INモードは、ルビジウム発振器などの超高精度ク  
ロック用です。

ディエンファシス対応サンプリング周波数  
32, 44.1, 48, 96 (kHz)

## 入力レベル

デジタル.....XLR x2, 5.0Vp-p±0.1V/110Ω  
RCA x1, 0.5Vp-p±0.1V/75Ω  
IEEE1394.....IEEE1394 x1  
WORD SYNC.....BNC x1, TTLレベル相当/75Ω

## 出力レベル

アナログ.....RCA x1系統, 2.2Vrms±0.1V/10kΩ  
XLR x1系統, 2.2Vrms±0.1V/10kΩ  
WORD SYNC.....BNC x1, TTLレベル相当/75Ω

## 付属品

電源コード×1  
フェルト×4枚  
取扱説明書(本書)×1  
ご愛用者カード×1

JEITAは電子情報技術産業協会規格に定められた測定法によるものです。

仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。  
取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

# 保証とアフターサービス

## ■保証書

保証書はご愛用者カードと引き換えに発行いたします。添付のご愛用者カードに必要な事項を御記入の上、ご購入後なるべく1ヶ月以内にご返送ください。保証書が届きましたら、保証内容をご確認の上、大切に保管してください。保証期間はご購入日から5年です。

- 保証書発行には約1ヶ月程度かかります。あらかじめご了承ください。
- ご記入頂いたご愛用者カードのご購入日が弊社出荷日と大きく異なる場合(6ヶ月以上ご愛用者カードの返送がない場合、ご愛用者カードでのユーザー登録をせず転売された場合等)は、保証書を発行できない場合があります。

### 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、弊社サービス部門が無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、保証書をご提示の上、弊社サービス部門またはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前に弊社サービス部門にお問い合わせください。なお、離島および離島に準じる遠隔地への出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居、ご贈答品等でお買い上げの販売店に修理をご依頼にならない場合は、弊社サービス部門にご連絡ください。
- 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
  - (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
  - (2) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
  - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
  - (4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷
  - (5) 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
  - (6) 消耗品の自然消耗、磨耗、劣化や寿命部品等の交換が必要となった場合のメンテナンスやオーバーホール
  - (7) 保証書の提示がない場合
  - (8) 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名(印)の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.
- 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

## ■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

## ■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター(22ページに記載)にお問い合わせください。

## ■修理を依頼されるときは

18ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター(22ページに記載)にご連絡ください。なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

## 保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、修理させていただきます。

## 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

## 修理料金の仕組み

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。

部品代：修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

## 修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：スーパーオーディオCD/CD用  
モノラルD/Aコンバーター D-01

シリアルナンバー：

お買い上げ日：

販売店名：

お客様のご連絡先

故障の状況(できるだけ詳しく)

## ■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

## 分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

## 音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。

適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。



## エソテリック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

<http://www.esoteric.jp/>

### この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、  
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30~12:00/13:00~17:00です。

#### AVお客様相談室



**0570-000-701**

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

### 故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。  
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30~17:00です。

#### ティアック修理センター



**0570-000-501**

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858

電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。PHS・IP電話等からはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。